Sports Fukushima

スポーツふくしま

18
2008.1

㈶ 福島県体育協会　〒960-8065 福島市杉妻町5番75号　福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896　FAX 024-521-7971

みんなでスポーツを！

巻頭言

財団法人福島県体育協会 副会長
杉　山　純　一

本年より、本協会の副会長に就任致しました杉山純一でございます。

私は幼少より体を動かす事が何より大好きで、現在に至るまで様々なスポーツに接して参りました。

中学生の時は、器械体操部に所属し、特設で水泳をしたり、陸上では棒高跳びをしたりと、将来はどんな競技でもいいから「オリンピックに出たい」というのが私の夢でした。そんな私が高校のとき、空手と出会い、大学時代は空手の稽古に明け暮れた４年間でしたが、その甲斐あってか２度、全日本の学生チャンピオンになる事もできました。幼い頃の夢であったオリンピックに出場する事はできませんでしたが、空手界のオリンピックともいうべき世界大会には日本代表として出場し３位入賞することができました。

翌年に開催されたアジア大会では優勝することができましたが、世界大会で優勝できなかったことが今もって悔やまれてなりません。大学時代はおそらく一般の学生の３倍の稽古量をこなしていた様に思います。苦しい稽古を積んだおかげで、私のような小さな体で２度も優勝する事ができたのだと思います。

スポーツ選手の華やかな勝利の陰には苦しい練習があります。

同世代の人が遊んだり、デートを楽しんだりしているときに苦しく辛い練習をしています。誘惑に負けそうになることも多々あります。選手生活が終わりに近づいた３０歳のとき、もう一度世界大会に出たいという思いが強くなりました。もしこのまま終わってしまったら将来必ず悔いを残す事になるだろうという思いから、仕事を辞めようかと悩んでおりました。

そんな時、私に声を掛けてくれた方がおりました。その方のお陰で生活の心配をすることもなく、再度、世界へ向けて再挑戦することができました。

ナショナルチームの選考会に出て、選考は通ったものの、トップ選手のスピードと間合いに慣れるまでに一年を要しました。残念ながら再び世界大会の最終選考に残る事はできませんでしたが、悔いの残らないだけの挑戦はさせていただきました。

社会人になれば仕事、家庭を持てば生活との両立ができず、思うような練習をできないでいる選手は大勢いると思います。

私のお世話になった方は、地域の経済界の代表の方々が集まる中で私を紹介するとき、よくこのような話をして下さいました。

「杉山君のようにスポーツの世界で苦労してきた人材が皆さんの近くにいて困っていたら、地域の宝ですから、どうかできる限りの応援をしてやって下さい。」とよく私を紹介しながらお願いもして下さいました。本当にありがたい話です。

私はこのような方のお陰で自分の思いを遂げる事ができました。福島県出身で優秀な選手もたくさんいると思いますが、環境が整わず志を断念せざるを得ない選手も多くいると思います。このような選手、指導者の環境整備に力を注ぐべく努力して参りたいと思っております。

今後とも、我々県民・そして国民に、夢と感動と希望を与えてくれるスポーツの振興に一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げ巻頭言といたします。

もくじ

1 活躍する福島県選手
2 巻頭言
3 第６２回国民体育大会成績
4 国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿
10 「うつくしまスポーツ月間」実施報告
12 スポレク青森２００７大会報告
13 平成19年度第2回福島県スポーツ指導者研修会実施報告
13 ニュースポーツ種目の紹介「ペタンク」
14 みんなでつくろう総合型！「もとみやスポーツネットワーク」
15 「スポーツと健康」ワンポイント講座
15 INFORMATION
16 平成19年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

左／右中　井野麻美選手（福島大学／福島県選手団入場行進）　300m優勝
右上／右下　自転車競技／県旗
写真提供　共同通信・福島民友新聞

第62回 国民体育大会成績

1 参加状況

区分 大会		会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数 役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー 競技会	H19　1／27(土)〜31(水)	群馬県 渋川市 前橋市	佐藤　憲保	2	14	5	31	50
冬季大会	スキー競技会	H19　2／10(土)〜13(火)	秋田県 仙北市 鹿角市	浅川　静英	1	※1 13 (4)	6 (12)	49	68 (16)
本大会		H19　9／30(土)〜10／10(火)	秋田県 秋田市他	佐藤　雄平	36	23	※2 81 (85)	486 (21)	590 (106)

※1　派遣人数の(　)は競技団体派遣者で外数　※2　監督のうち9名は選手兼任

2 競技成績

区分 大会		天皇杯 競技得点	参加得点	得点合計	順位	皇后杯 競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季	スケート競技会	7.0点	10点	17.0点	25位	0.0点	10点	10.0点	20位
冬季	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	13位	—	—	—	—
冬季	スキー競技会	17.0点	10点	27.0点	10位	8.0点	10点	18.0点	8位
本大会		509.0点	370点	879.0点	22位	238.0点	280点	518.0点	19位
合計		533.0点	400点	933点	24位	246.0点	300点	546.0点	20位

開会式旗手の中川正樹選手（サッカー）

本大会での現地結団式

国体本大会競技別成績と活躍選手の寄稿

水泳競技　競技得点44.0点　天皇杯17位　皇后杯11位

種　別	種　目	順　位	得　点	選　手　名	所　属
成年男子	100m背泳ぎ	6	3	山　口　雅　文	ミズノ株式会社
少年男子	400m自由形	8	1	鈴　木　駿　矢	蓬莱中学校3年
少年女子	200m個人メドレー	1	8	加　藤　　和	桜の聖母学院高校3年
少年女B	100m自由形	2	7	高　橋　恵　美	福島成蹊高校1年
〃	200mリレー	5	4	福島県	
				高　橋　恵　美	福島成蹊高校1年
				三　瓶　みずき	福島成蹊高校1年
				宍　戸　さつき	福島成蹊高校1年
				菅　野　史　恵	安達中学校3年
女子混合	200mリレー	8	1	福島県	
				高　橋　恵　美	福島成蹊高校1年
				原　田　文　子	日本体育大学4年
				加　藤　　和	桜の聖母学院高校3年
				小　松　あ　き	安積高校3年
成年男子	高飛込	5	4	江　川　克　彦	日本体育大学3年
少年男子	飛板飛込	6	3	小　林　和　真	日大東北高校1年
少年女子	高飛込	4	5	吉　田　佳　世	清陵情報高校1年
〃	飛板飛込	1	8	吉　田　佳　世	清陵情報高校1年

初めての国体に参加して

清陵情報高校一年　吉田 佳世

初めて出場した秋田わか杉国体で、私は様々な思いの中、期待と不安でいっぱいでした。以前から出場したかった大会であり、福島県の代表として、また、一人の競技者として、どれだけ全国に通用するのかを意識して望んだ大会でした。

福島県には飛込の室内プールがないため、二週間前から現地で合宿を行いました。試合が近づくにつれ、緊張感も高まり失敗するのではないかと不安でたまりませんでした。練習でもその不安は表れました。自分では、「集中して何も考えないように」と思っていましたが、身体は振るえ試合が近づいているのを知らせているようでした。しかし、先生や同じチームの人、友達などと話しているうちに、皆も同じ気持ちなのだと実感しました。私は改めて自分のやるべきことは、「ベストを尽くすことだ！」と思いました。

試合当日は、それほど緊張感もなく、楽しんでいました。苦手な競技である高飛込は、やはり恐怖心があり、少し失敗した演技もありましたが、4位となりインターハイの順位を守ることが出来ました。そして板飛込では、今までにない様な集中力で、しかも楽しみながら演技が出来たので、思いっきり飛ぶことが出来ました。その結果、表彰台の頂上に立つことが出来、この気持ちは達成感と安堵感、そしてなんとも表現しがたい嬉しさでした。

この試合で、両種目自己ベストを記録し、板飛込は今後の試合のバネになる結果でした。次の目標を決め、また一歩ずつ進んで行きたいと思っています。応援して下さった方々に感謝してこれからも、頑張りたいと思います。

ウエイトリフティング競技　競技得点52.0点　天皇杯8位

種　別	種　目	順　位	得　点	選　手　名	所　属
成年男子	69kg級スナッチ	6	3	佐　藤　慶　士	中央大学4年
〃	77kg級スナッチ	4	5	金　子　和　央	福島医療専門学校2年
〃	77kg級C&ジャーク	3	6	金　子　和　央	福島医療専門学校2年
〃	94kg級スナッチ	4	5	本　多　　滋	法政大学4年
〃	94kg級C&ジャーク	7	2	本　多　　滋	法政大学4年
少年男子	56kg級スナッチ	2	7	細　川　政　彦	川俣高校3年
〃	56kg級C&ジャーク	6	3	細　川　政　彦	川俣高校3年
〃	69kg級スナッチ	5	4	佐久間　　岬	田村高校3年
〃	69kg級C&ジャーク	6	3	佐久間　　岬	田村高校3年
〃	94kg級スナッチ	2	7	加　藤　温　恭	勿来工業高校3年
〃	94kg級C&ジャーク	2	7	加　藤　温　恭	勿来工業高校3年

自転車競技　競技得点69.0点　天皇杯1位（5連覇）

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ロードレース	5	4	橋川　健	マトリックスパワータグ
〃	1kmタイムトライアル	2	7	緑川　修平	福島県自転車競技連盟
〃	ケイリン	7	2	真船　拓磨	日本大学4年
〃	4km速度競走	2	7	小豆畑　郁也	日本大学4年
少年男子	1kmタイムトライアル	8	1	駒場　智城	東白川農商高校2年
〃	4km速度競走	2	7	相笠　翔太	白河実業高校3年
〃	エリミネイション･レース	8	1	本馬　陵	平工業高校3年
〃	ポイントレース	2	7	窪木　一茂	学校法人石川高校3年
男子	チームスプリント	6	9	福島県	
				(監)田崎今日児／白河実業高校教員	(監)中野目　啓／白河高校教員
				緑川　修平／福島県自転車競技連盟	駒場　智城／東白川農商高校2年
				須永　勝太／白河実業高校2年	糸賀　賢司／岩瀬農業高校教員
男子	4km団体追抜競走	1	24	福島県	
				(監)田崎今日児／白河実業高校教員	(監)中野目　啓／白河高校教員
				我妻　敏／日本大学2年	小豆畑郁也／日本大学4年
				窪木　一茂／学校法人石川高校3年	相笠　翔太／白河実業高校3年

競技別優勝
五連覇を達成した
福島県自転車競技チーム

写真提供：福島民友新聞

カヌー競技　競技得点17.0点　天皇杯26位　皇后杯13位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	ﾜｲﾙﾄﾞｳｫｰﾀｰ1500m	3	6	和田　藍加	福島医療専門学校
成年女子	WK-1(500m)	3	6	久野　綾香	久野製作所
〃	WK-1(200m)	7	2	久野　綾香	久野製作所
少年男子	JK-1(500m)	6	3	菅野　誠一	安達高校2年

ボウリング競技　競技得点23.0点　天皇杯15位　皇后杯9位

			得点	選手名	所属
		8		竹俣　茉耶	会津若松ｻﾞﾍﾞﾘｵ学園高校3年
少年男子	団体戦	8	3	福島県	
				(監)高野　征弘	株式会社ケービー
				遠藤　充朗	安積黎明高校2年
				大塚　裕二	会津工業高校3年
少年女子	団体戦	5	12	福島県	
				(監)遠藤　嘉幸	株式会社宮川商事
				竹俣　茉耶	会津若松ｻﾞﾍﾞﾘｵ学園高校3年
				斎藤　あ咲	川俣中学校3年

「個人戦優勝、団体戦五位に入賞して」

会津若松ザベリオ学園高校3年　竹俣 茉耶

写真提供：福島民報新聞

私は、第62回秋田わか杉国民体育大会で個人戦優勝、団体戦第5位入賞という好成績を残す事が出来ました。国体前は調子が悪く、他の大会に出場しても成績が残せないという事があったため、不安もありました。国体前に国体選手全員で集まり、練習を行ったり合宿をしたりしてとても充実して練習する事が出来ました。チーム戦も練習するにつれてチームワークが高まったために大会前の不安がとれたと思います。

国体一日目は個人戦の予選前半がありました。緊張のためか、思ったところにボールが行かずあまり高得点を出すことが出来ず、悪いスタートとなってしまいました。少年女子の監督と話をして、力がはいっているから明日は普段どおりに投げよう。と、アドバイスをもらいました。

二日目は個人戦予選後半と決勝戦、団体戦予選前半と後半がありました。予選後半は比較的普段どおりに近い状態で投げられました。そのため、予選を1位通過する事が出来ました。私は去年の兵庫国体の個人戦で優勝したので二連覇がかかっていました。意識しないようにと心がけていましたが、少し意識してしまい、投球にも力がはいってしまいましたがそれでも35点差をつけて優勝することができました。

団体戦でも自分のボウリングをするように心がけて臨みました。優勝争いに一度絡みましたが、緊張してしまい、5位になりました。それでも福島県はチーム戦が強いと言われていたため、入賞はとても嬉しかったです。

福島県ボウリング連盟の皆さんや監督、コーチ、家族が私を支えてくれたのでこのような好成績を残す事が出来たのだと思います。周囲の人の協力がなかったら今の自分はいないと思うので、本当に感謝しています。

これからも、周囲の人に対しての感謝の気持ちを忘れず、国民体育大会はもちろん、全国大会や海外の大会でも好成績を残せるように、日々努力していきたいと思います。

なぎなた競技　競技得点24.0点　天皇杯6位　皇后杯6位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	演技競技	6	9	福島県	
				(監)横倉英子	磐梯第一小学校教員
				佐藤智聡	会津学鳳高校3年
				新田葵	葵高校3年
				黒沢さつき	会津高校1年
成年女子	試合競技	4	15	福島県	
				(監)佐々木晶子	会津若松市立第三中学校教員
				松村ちひろ	日本体育大学3年
				菅原比呂美	福島市振興公社
				川副朱里	国際武道大学4年

セーリング競技　競技得点5.0点　天皇杯26位　皇后杯16位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	ｼｰﾎｯﾊﾟｰ級ｽﾓｰﾙﾘｸﾞ	4	5	高橋香	鹿屋体育大学2年

空手道競技　競技得点7.5点　天皇杯21位　皇后杯20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	団体戦	5	7.5	福島県	
				(監)佐藤臣聖	クリナップ運輸(株)
				本間大造	学法福島高校教員
				星大樹	東京農業大学1年
				香川幸允	帝京大学2年

成年男子団体で5位入賞した監督・選手

サッカー競技　競技得点20.0点　天皇杯12位　皇后杯5位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
女子		5	20	福島県	
				(監)青木知里	東京電力(株)
				内田由布子	東京電力(株)
				池田瑞穂	東京電力(株)
				村上今日子	東京電力(株)
				水野加奈子	富岡高校2年
				早坂優	東京電力(株)
				神戸成美	東京電力(株)
				保格彩乃	東京電力(株)
				桑原沙緒莉	東京電力(株)
				森田牧子	東京電力(株)
				岡本悠希	富岡高校2年
				千葉歩	橘高校3年
				菅澤優衣香	富岡高校2年
				田子亜貴	日本体育大学1年
				山本菜桜美	富岡高校2年
				泉知里	富岡高校2年

相撲競技　競技得点7.5点　天皇杯14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子A	団体戦	5	7.5	福島県	
				(監)東海林義一	会津農林高校教員
				東井広行	凸版印刷(株)情報出版
				松本美喜夫	クリエイト(株)東北支店
				皆川良輔	自営
				薄勇樹	東京農業大学1年

馬術競技　競技得点29.0　点天皇杯7位　皇后杯9位

種　別	種　　目	順　位	得　点	選　手　名	所　　属
成年女子	二段障害飛越	2	7	高　橋　かほる	オーベルジュ鈴鐘
少　　年	二段障害飛越	2	7	吉　田　賢　人	双葉高校３年
〃	団体障害飛越	5	4	渡　邉　貴　洋	福島明成高校３年
〃	団体障害飛越			鈴　木　裕　美	福島成蹊高校３年
〃	ｽﾋﾟｰﾄﾞｱﾝﾄﾞﾊﾝﾃﾞｨﾈｽ	4	5	吉　田　賢　人	双葉高校３年
〃	リレー競技	3	6	吉　田　学　人	双葉高校３年
				吉　田　賢　人	双葉高校３年

フェンシング競技　競技得点18.0点天皇杯14位皇后杯14位

種　別	種　　目	順　位	得　点	選　手　名	所　　属
成年男子	フルーレ	6	9	福島県	
	サーブル	6	9	(監)阿　曽　　毅	ＮＯＫメタル(株)
				今　野　　勝	川俣ホーム
				田　代　大　幸	(株)ﾜｰﾙﾄﾞｲﾝﾀﾞｽﾄﾘｰ福島工場
				髙　木　芳　健	福島クラブ

陸上競技　競技得点66.0点　天皇杯9位　皇后杯13位

種　別	種　　目	順位	得点	選　手　名	所　　属
成年男子	400m	1	8	佐　藤　光　浩	富士通
〃	3000mSC	6	3	菊　池　敦　郎	順天堂大学２年
成年女子	400m	8	1	吉　田　真希子	ナチュリル
〃	800m	1	8	丹　野　麻　美	福島大学４年
〃	5000m	6	3	馬　目　　綾	しまむら
少年男子	A100m	2	7	梶　　将　徳	白河旭高校２年
〃	A5000m	6	3	岡　本　尚　文	田村高校３年
〃	A400mH	1	8	記　野　友　晴	会津学鳳高校３年
〃	B円盤投げ	5	4	高　橋　淳　史	いわき光洋高校１年
〃	Aやり投げ	5	4	金　子　佑太朗	会津高校３年
少年女子	B走幅跳	3	6	五十嵐　麻　央	会津若松第三中学校３年
〃	A三段跳	7	2	三　浦　茉　莉	橘高校３年
〃	共やり投げ	8	1	田　中　あずさ	坂下高校３年
〃	共3000m	8	1	蛭　田　ちな美	いわき総合高校３年
成･少年女子	4×100mR	2	7	福島県	
				佐　藤　有希恵	日大東北高校３年
				丹　野　麻　美	福島大学４年
				栗　本　佳世子	ナチュリル
				武　石　この実	会津学鳳高校１年

「秋田国体～福島県の強さの秘密～」　　佐藤 光浩

写真提供：福島民友新聞

１０月８日、秋田国体成年男子400m決勝が行われました。その日は早朝から雨が降り続く生憎の天候で気温は低く、秋風が舞い、肌寒さを感じていました。競技を行う最適の気象条件とはほど遠いものでした。しかし、どんな条件下であろうとも、レースに対する集中力は揺るぐことなく、『必ず優勝する！』という大きな決意を持って臨みました。

それは、昨年の兵庫国体で決勝を前に体調が崩れ、欠場せざるを得ない状態になり、大変ご迷惑をかけた想いがありました。今回は何としても結果で恩返しをしたいという一心で走りました。

そして、目標は達成されました。福島県に貢献できたことは、私自身2年ぶりの優勝ということもあり、万感の思いでフィニッシュラインを駆け抜けることができました。

この背景には、常にコーチ陣の懸命なサポートのお陰であったことはいうまでもありません。福島県のコーチスタッフは、他県に類がない素晴らしい陣容で、十分に力を出せるように最大限のサポートで私たち選手を支えてくれます。

国体は今大会で7度目の出場になりますが、どの大会もコーチ、選手が一体となって、競技に取り組む姿勢が強く感じられます。また、コーチが選手のために、最善の方法で、最善の努力をして頂けていることを実感します。コーチと選手の信頼関係の絆の強さが、福島県の陸上チームの強さの秘訣であると、改めて秋田国体で実感することができました。

ボクシング競技　競技得点7.5点　天皇杯26位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	バンタム級	5	2.5	伊藤　悠樹	法政大学1年
〃	ウエルター級	5	2.5	高田　大将	法政大学1年
少年男子	ライト級	5	2.5	佐瀬　　滋	会津工業高校３年

レスリング競技　競技得点33.5点　天皇杯10位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	ﾌﾘｰ74kg級	2	7	長島　和幸	クリナップ(株)
〃	ｸﾞﾚｺﾛｰﾏﾝ60kg級	2	7	北岡　秀王	クリナップ(株)
〃	ｸﾞﾚｺﾛｰﾏﾝ84kg級	5	2.5	渡部　友章	日本体育大学1年
少年男子	ｸﾞﾚｺﾛｰﾏﾝ96kg級	2	7	福田　広樹	田島高校３年
〃	ﾌﾘｰ55kg級	5	2.5	萩生田　友之	大沼高校３年
〃	ﾌﾘｰ84kg級	5	2.5	松本　雅俊	喜多方工業高校３年
〃	ｸﾞﾚｺﾛｰﾏﾝ60kg級	5	2.5	湯田　祐太郎	田島高校３年
〃	ｸﾞﾚｺﾛｰﾏﾝ74kg級	5	2.5	渡部　一輝	田島高校３年

ゴルフ競技　競技得点9.0点　天皇杯13位　皇后杯6位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
女子	団体戦	6	9	福島県	
				(監)白土　岳子	自営
				平山　　歩	東日本国際大学附属昌平高校2年
				酒井　美紀	東日本国際大学附属昌平高校1年
				中田　順子	東日本国際大学附属昌平高校3年

ソフトボール競技　競技得点40.0点　天皇杯15位　皇后杯7位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		5	20	福島県	
				(監)二瓶　美恵子	帝京安積高校教員
				遠藤　亨恵	福島市スポーツ振興公社
				影山　早希	仙台大学４年
				田子　結佳	東北福祉大学３年
				蔦　　ゆみ子	東海理化
				小峰　佳美	東海理化
				萩原　里美	東海理化
				高槻　ひとみ	東海学院大学２年
				渡邉　いつき	恒和薬品
				金子　真実	富岡高校教員
				武藤　理恵	日本体育大学２年
				板倉　美里	カネボウ株式会社
				佐藤　佳織	東北福祉大学２年
				篠原　弥生	総合南東北病院
				佐藤　ゆきえ	カネボウ株式会社
				紺野　智恵美	関東学園大学1年
				鈴木　由紀	増子商事株式会社
少年女子		5	20	福島県	
				(監)和田　　広	帝京安積高校教員
				江坂　亜梨子	帝京安積高校３年
				金丸　桃子	帝京安積高校３年
				田中　詩織	帝京安積高校３年
				町野　　瑛	帝京安積高校３年
				若松　梨沙	帝京安積高校３年
				籠島　え　り	帝京安積高校３年
				高槻　みのり	帝京安積高校３年
				渡邉　昌江	帝京安積高校３年
				坂本　由香	帝京安積高校３年
				鈴木　瑛子	帝京安積高校３年
				秋山　麻美	帝京安積高校２年
				井塚　千尋	帝京安積高校２年
				矢内　麻美	帝京安積高校２年
				高橋　明日美	福島東稜高校３年
				安部　恵理	福島東稜高校３年
				滝　　千絵美	郡山東高校３年

弓道競技　競技得点21.0点　天皇杯18位　皇后杯8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	遠的	2	21	福島県	
				(監)高　井　幸　子	福島県弓道連盟
				大　谷　由美子	東北学院大学2年
				小　林　真利子	福島大学2年
				根　本　久美子	(株)日東発條

「頑張った遠的」

根本　久美子

今年の8月、東北総体で国体出場権を獲得し、2年ぶりの国体出場が決まりました。今年のメンバーは大学二年生の二人と社会人の私という三人のチームでした。

弓道は近的競技と遠的競技の2種目があります。今年のチームはどちらかというと、近的が得意なチームでした。強化合宿では、苦手とする遠的を中心に練習をしてきましたが、なかなか思うような成績は出せませんでした。私達の目標は、近的での上位入賞でした。

ところが、国体が始まり一日目と二日目に得意な近的で予選落ちしてしまったのです。

あとは苦手な遠的です。私達はそれでもあきらめることなく、遠的に挑戦しました。

三日目の遠的予選。予選1回目は、今までの練習で出したこともない高得点を出し、予選通過しました。決勝トーナメントでは、挑戦者の気持ちで一射一射を大切に引いて勝ち進みました。気が付くと遠的が苦手な私達が決勝戦まで進み第二位となっていました。

苦手な遠的で第二位になれるとは思いもしなかったので、嬉しいと同時にとても不思議な気持ちでした。でも、よく考えてみると遠的は苦手だったとはいえ、本当によく練習しました。いくらやっても成績が悪く、監督やコーチに心配かけましたが、一生懸命あきらめずに練習したことが結果につながったのだと思います。

この結果は私達三人だけの力ではなく、私達をご指導くださいました監督・コーチの先生方や、応援してくれた皆様のおかげです。皆さんに感謝したいと思います。

そしてまた、次の国体に向けて頑張りたいと思います。

ボート競技　競技得点16.0点　天皇杯18位　皇后杯8位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年女子	舵手付きクォドルプル	6	15	福島県	
				(監)五十嵐　誠	湖南高校教員
				橋谷田　千　夏	西会津高校1年
				鈴　木　梨佳子	喜多方東高校3年
				依　田　　光	湖南高校2年
				渡　部　早　希	湖南高校2年
				三　留　加　奈	西会津高校3年
				鈴　木　芽　生	西会津高校1年
	シングルスカル	8	1	三　田　綾　華	田村高校2年

高校野球競技(公開競技)

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
高校野球	硬式	5	公開競技		
				(部)横　山　博　英	聖光学院高校教員
				(監)斎　藤　智　也	聖光学院高校教員
				鈴　木　健　太	聖光学院高校3年
				宗　方　一　馬	聖光学院高校3年
				関　根　健　斗	聖光学院高校2年
				渡　辺　侑　也	聖光学院高校3年
				安　田　将　司	聖光学院高校2年
				島　津　　翔	聖光学院高校3年
				菅　野　修　平	聖光学院高校2年
				末　永　　豪	聖光学院高校3年
				黒　羽　剛　広	聖光学院高校2年
				高　橋　晋　平	聖光学院高校3年
				佐　藤　竜　哉	聖光学院高校2年
				返　見　　彰	聖光学院高校3年
				渡　辺　恭太朗	聖光学院高校2年
				小　椋　大　輝	聖光学院高校3年
				仲　田　浩　人	聖光学院高校2年
				鈴　木　伸　也	聖光学院高校3年

「うつくしまスポーツ月間」

～位置について！ヨーイ！スポーツ！～ 実施報告

今年度は、県体育協会とうつくしま広域スポーツセンターと連携し、さらに福島県教育委員会の共催を得て、10月を「うつくしまスポーツ月間」と位置づけました。

スポーツ実践の機会を提供し、スポーツ実施への意欲を喚起することが趣旨となる月間中、多くのイベントを企画し、すべての県民の皆さんがスポーツに親しみ、豊かで活力ある生活を送ることができる生涯スポーツ社会を実現するため、広報・啓発活動を展開しました。

次年度以降も「うつくしまスポーツ月間」を推進し、定着させたいと思っておりますので、これを機により一層スポーツを楽しんでいただければと思います。

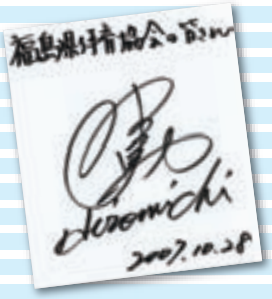
生涯スポーツキャンペーン事業　生涯スポーツ講演会

テレビでおなじみ、体操のお兄さん

ひろみち お兄さんといっしょ 親子体操教室を開催!!

10月28日(日)には、テレビなどでおなじみの体操のお兄さん、佐藤弘道さんを南相馬市にお招きし、「生涯スポーツキャンペーン2007　ひろみちお兄さんといっしょ　親子体操教室」を開催しました。3～6歳までの未就学児童を対象とした「午前の部」、小学校1～3年生を対象とした「午後の部」で計818組の親子が、ふれあいを大切にしながら楽しく身体を動かしました。

プレゴールデンエイジの時期からスポーツ活動に取り組むことが、その後の心身の成長に大きな影響を与えることの大切さが最近取りあげられています。スポーツへの興味・関心を高め、さらには親子の絆を深める、実りのあるイベントとなりました。



ふくしまスポーツフェスタ2007 in みなみそうま

（兼　第２７回福島県レクリエーション大会）

「ふくしまスポーツフェスタ」は、広く県民の皆さまに様々なスポーツ・レクリエーション活動を体験していただき、健康で明るく潤いのある生活の実現に向けて開催しています。県体育協会が開催していた生涯スポーツキャンペーンイベントを、体験ひろばとタイアップして２年目となり、今後の定着を図っています。１０月１３日には南相馬市の温かいおもてなしの中開会式が行われ、南相馬市の各公共施設を会場に２４種目を開催し、たくさんの方に参加していただきました。

来年は本宮市で開催予定です。みなさん、楽しみにしていてください。

競技・実践種目

●インディアカ　●綱引　●ターゲット・バードゴルフ　●オリエンテーリング
●ソフトバレーボール　●グラウンド・ゴルフ　●ペタンク　●ディスクゴルフ
●フライングディスク　●キンボール　●木球　●バウンドテニス
●ラージボール卓球　●スポーツ吹矢　●パークゴルフ　●武術太極拳
●レクリエーションダンス　●キャンプ　●健康ウォーキング
●社交ダンス　●３Ｂ体操　●ネイチャーゲーム　●体験ひろば
●サイクリング

スポーツゲームズinふくしま

うつくしま広域スポーツセンターでは１０月２８日に、ＮＰＯ法人ＭＩＰスポーツプロジェクトとのタイアップにより「スポーツゲームズinふくしま」を開催しました。“スポーツクリニック”など５つの講座に、約５００名が参加しました。参加した小中学生は、それぞれの種目のトップアスリートからの指導に熱心に聞き入っていました。

多くの皆さんにスポーツに親しんでいただくことができ、総合型地域スポーツクラブの可能性をも示唆する取り組みとなりました。今後も、さらに多くの皆さんにスポーツを普及していく取り組みに努めます。

講　座　内　容

<チャレンジスポーツラリー> ☆小学校３年生～６年生対象
バドミントン・バスケットボール・陸上競技・バレーボール・ソフトテニスの５つのスポーツから２種目のスポーツを体験。

<スポーツクリニック> ☆中学生対象
バドミントン・バスケットボール・陸上競技・バレーボール・ソフトテニスの５つのスポーツから１種目のクリニックを体験。

<栄養セミナー> ☆保護者、指導者対象
子ども達の心身の発育や発達に重要なスポーツ栄養について。

<親子コーディネーショントレーニング>
☆小学校１・２年生親子対象
遊びの動きから運動神経を伸ばすトレーニングを親子一緒に。

<健康セミナー> ☆中高齢者対象
元気に歩き続けるための筋力トレーニング

大会報告

今年で第２０回を迎えた「全国スポーツ・レクリエーション祭」に、約1万人もの参加者が青森県に集いました。「全国スポーツ・レクリエーション祭」は、勝敗のみを競うのではなく、誰もが、いつでも、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、交流を深めることを目的として、昭和６３年から各都道府県持ち回り方式で毎年開催されている、生涯スポーツの一大祭典です。

「熱くなれ　みんな輪になれ　りんごの国で」というスローガンのもと、平成１９年９月２２日～２５日までの４日間、本県からも１６８名の選手団が参加し、青森市で行われた開会式に臨んだのち、それぞれの種目開催地で各都道府県の選手との交流試合を楽しみました。

来年は琵琶湖のほとり、滋賀県での開催となります。また多くの笑顔に会えることを、楽しみにしています！

県選手団の参加状況

No.	種　目　名	本県参加チーム名	会場地
1	グラウンド・ゴルフ	うつくしまふくしま	大鰐町
2	ゲートボール	鶴ケ城・会津天神	つがる市
3	壮年サッカー	会津５０ＦＣ	青森市・弘前市
4	ソフトバレーボール	リバティ	黒石市
5	女子ソフトボール	福島橘チャッターズ	三沢市
6	ラージボール卓球	福島シャクナゲチーム	五所川原市
7	ターゲットバードゴルフ	いわき黒潮会	弘前市
8	男女混合綱引	綱人	平内町
9	年齢別テニス	福島相双野馬追隊	八戸市
10	年齢別ソフトテニス	相馬野馬追	青森市
11	バウンドテニス	牧場の朝	十和田市
12	年齢別バドミントン	おらが　ふくしま	弘前市
13	壮年ボウリング	キビタン	八戸市
14	マスターズ陸上競技	福島マスターズ	青森市
15	インディアカ	くらのまち	むつ市
16	フォークダンス	福島カンチョロリンズ	青森市
17	エアロビック	検定５級めざし隊	平川市
18	トランポリン	コラッセ福島	野辺地町

平成19年度　第2回福島県スポーツ指導者研修会実施報告

「ジュニア期のスポーツ指導の留意点」

本協議会では年３回の研修会を実施していますが、今年度は、１回目を会津地区（会津大学）で開催し、第２回目は全県の指導者を対象として郡山ユラックス熱海で開催いたしました。

研修内容は「ジュニアスポーツ指導の留意点」ということで、このテーマでの研修は本年度で３年目になります。スポーツ経験の入り口にあたる子ども達の指導には、細心の注意をはらってあたらないと、スポーツ傷害を起こしたり、過度な勝利至上主義による燃え尽き症候群を起こし、次のスポーツ経験のステップを踏めなかったりして、スポーツ離れを起こしかねないような恐れもあるからです。

そこで今回の研修会は、平成１７年度に一度開催し、大変好評でしたコーディネーショントレーニング（ＣＯＴ）を今回は取り上げ、理論と実際ということでＮＰＯ法人ＪＡＣＯＴ副理事長、中部学院大学准教授の平井博史先生をお招きして研修を行いました。ここで、ＣＯＴについて簡単にご紹介します。コーディネーションとは「からだをたくみに動かす」能力のこと、７０年代に旧東ドイツの運動学者が考え出した理論で、体の動きやスポーツのテクニックを科学的・体系的に分析し、合理的かつ効率的に発揮するために必要なプログラムとして開発されました。　したがって、発育・発達理論からすればＣＯＴは小学生の段階から取り組むのがベストなトレーニング手法なのです。ただ、皆さん実技を行って感じられたことは、「あれ、これって昔子どものころに遊んだゲームだよね。」など随所に笑いがあふれ、終始楽しくからだを動かすことができました。

昨今、子ども達の体力低下や運動不足が叫ばれる中、これらを解決するための一手法として、指導者にとり大変有意義な研修会だったのではないでしょうか。今後もＣＯＴはぜひ取り上げて生きたいと考えています。

ニュースポーツ種目の紹介

「ペタンク」

先攻チームがゲームのスタート地点として両足が入る位の輪（サークル）を地面に手（足）で描いて、目標球（ビュット）を６～１０ｍ先に投げておき、金属製のボールをビュットの近くに止まるように投げます。続いて後攻チームが投げ、ビュットからどちらが近いかを比べ、遠い方のチームが、近い方のチームのボールよりもっと近くになるまで投げます。

片方のチームが持ちボールを投げ終わったら、相手チームは残ったボールを全部投げ、ビュットから最も近い相手チームのボールよりもっと近いボールが得点になります。途中投げたボールで相手のボールやビュットを動かしてもかまいません。最終的にビュットに近いボールが得点になるので、意外性に富んだゲームです。

競技スポーツとして取り組むなら世界選手権大会まであります。生涯スポーツとしては、誰でも参加できる『ふくしまスポーツフェスタ』等の大会もあり、『ねんりんピック』での全国大会には車椅子で参加した県代表選手もいました。人気番組スマップ×スマップでもペタンクを楽しんでいる姿が放映されました。彼らはフランスでペタンクに触れ、楽しんだそうです。個人的にも、各家庭の庭先で家族みんなで楽しむことも出来ます。県内各地に２０余の部組織があり毎週定期的に楽しんでおります。皆さん一緒に楽しみましょう

問い合わせ先

福島県ペタンク連盟事務局
事務局長　斎藤寛治
〒960-8117　福島市入江町６-３９
TEL･FAX　024－534－2823
E-mail huku-peta@cyber.ocn.ne.jp

Let's enjoy sports

もとみやスポーツネットワーク

会長 宍戸一郎

『もとみやスポーツネットワーク』の目指すものは、単に競技志向に偏らず、各種スポーツ教室・スポーツサークル・スポーツイベントなど、豊かなスポーツライフ創造のためのクラブであり、地域コミュニティーの核としてのクラブです。スポーツ振興のみならず、地域における住民意識や連帯感の高揚、世代間の交流、高齢社会への対応、地域の教育力の回復、学校運動部活動と地域との連携など、活き活きした地域社会を形成することが目的です。

もとみやスポーツネットワーク 4つのVision

- 子供から高齢者まで誰でも気軽に参加できるクラブ
- 地域の人々が生涯を通して交流できるクラブ
- 専門指導者のもと、一貫指導のできるクラブ
- 専門指導者を育成できるクラブ

小学生水泳教室(初級)

Aquaコース

レッスンあり！お楽しみありの充実カリキュラム

水泳・ウォーキング教室

グッピー/スイミーコース(初級・中級)

1年間を通して専門指導者による一貫指導を目指します。4泳法をレベル別にてレッスンします。

ペンギンコース

専門指導者による4泳法をレベル別にてレッスンします。水中ウォーキングによる体脂肪燃焼も目的としています。

ヨガ教室

Enjoyコース

スポーツは楽しまなくっちゃ！

チャレンジクラブ(空手)

個人でも親子でも参加でき、スポーツを楽しみながら行うのがエンジョイコースの特徴です。メニューに関しては皆様のご要望に応えながら、新たなメニューも増設予定です。『月1,000円でどれでも参加OK！』です。

テニス教室

Studyコース

皆さんのアイディアお待ちしています！

歩くエアロビクス教室

スポーツにこだわらず、皆さんの要望や時代のニーズに合わせた教室を開催できるメニューとなっています。会員でない方も参加できるようになっており、皆さんのリクエスト『こんな教室開催して』によるメニューをどんどん展開していきたいと思っています。

ネイルアート教室

Festivalコース

『皆でイベントを楽しもう！』

里山トレッキング

もとみやスポーツネットワークは地域密着のクラブとして活動するため、会員の交流はかかせません。幼児から高齢者の皆で交流できるようなイベントを開催していきたいと考えています。

皆さんのアイディア、お待ちしています。

体力測定&芋煮会

紙飛行機大会

お申し込み・お問い合わせ先

【もとみやスポーツネットワーク事務局】

〒969-1129　福島県本宮市本宮字矢来39−1

TEL 0243-33-2611　FAX 0243-33-4488

ホームページについては本宮市ホームページよりご覧いただけます。

ONE POINT

「スポーツと健康」ワンポイント講座

(財)福島県体育協会スポーツ医科学委員会委員長
<(社)日本医師会・(財)日本体育協会公認スポーツドクター>
本　宿　　尚 先生

～正しい姿勢で歩きましょう！～

現在の生活習慣病の原因の大部分は心肺機能の低下をきたす運動不足によるものです。健康のためのスポーツは瞬発力よりも持久力を高めるスポーツが有効です。

這えば立て、立てば歩めの親心の諺にあるように、数百万年前に猿から人が「直立二足歩行動物」として別れた時から歩くということが人間生活の基本になっています。その歩行が不足しているのは現代人です。平均的な男性なら一日約６０００歩、女性はその半分位とみてよいでしょう。人間の体は不思議なもので歩くという動作も無意識のうちにスムーズに行っていますが、正しく歩くという習慣をつけることが健康にとって非常に重要な意味をもちます。

それには先ず大切なことは正しい姿勢で歩くことです。足のつま先をまっすぐ前に向け目と頭を前に向け、肩の力を抜いて踵から着地して足の裏全体を使って、つま先で蹴るようにします。ベタベタ歩き、ブラブラ歩きは健康のためのウォーキングとしては余り効果がありません。

一言にしていえば或る程度歩幅を広くしてさっそうに歩くことです。実際に歩いてみて息切れするようなら少しスピードをゆるめ、時間をかけ、体力にゆとりができたら歩く速度を少しずつ速めればよいと思います。ウォーキングを日常生活の一部に取り入れることがよい健康習慣の基本であることをおぼえて下さい。

INFORMATION

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです！

http://www.sports-fukushima.or.jp

E-mail:info@sports-fukushima.or.jp

(財)福島県体育協会

福島市杉妻町5番75号　福島県庁東分庁舎3号館

スポーツなんでも相談

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関することの無料相談を受け付けています。下記の方法でお問い合わせください。

1. 電話によるご相談　TEL 024-521-7896
2. FAXによるご相談　FAX 024-521-7971
3. メールによるご相談　info@sports-fukushima.or.jp

(財)日体協公認スポーツ指導者研修会のお知らせ

財団法人日本体育協会が公認するスポーツ指導員は、その資格を更新するために4年に最低一度、義務研修を受けなければなりません。本県でも例年、研修会を開催しており、本年度は残り一回となりました。

次回の研修会の予定は下記の通りです。

第３回福島県スポーツ指導者研修会

期　日　平成20年2月3日(日)
会　場　サンフレッシュ白河(県南ブロック)

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。５名以上でご加入ください。

お問い合わせ
(財)スポーツ安全協会福島県支部
電話 024-526-4600

平成19年度　福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

福島県商工会連合会
福島県信用保証協会
キング印刷(株)
福島県議会スポーツ振興議員連盟
東信建設(株)
(株)東北装美
(株)モリヨシ技研
呉羽環境(株)
東北建設(株)
富岡町体育協会
福島日産自動車(株)
(株)福島中央テレビ
(株)アクト
(株)民報印刷
(株)加地和組
(株)福島テレビエンタープライズ
トップツアー(株)福島支店
(株)松崎
福島ガス(株)
福島ヤクルト販売(株)
(有)エンドースクリーン
オノヤスポーツ(株)
(学)新潟総合学院ＦＳＧ専門学校グループ
(株)福島放送
トーアエイヨー(株)
福島県商工信用組合
福島トヨペット(株)
東北索道協会福島地区部会
(株)クラロンスポーツ
(有)吾妻印刷
(株)福島民報社
磐城通運(株)
佐藤工業(株)
ゼビオ(株)
花春酒造(株)
関場建設(株)
(株)ひらい
福島県中央商工振興協同組合
福島県建設業協会双葉支部
楢葉町体育協会
東北電力(株)福島支店
小名浜製錬(株)小名浜製錬所
クレハ建設(株)
(株)渡辺組
大塚製薬(株)郡山出張所
(株)海老名建設
(株)ダイユーエイト
六陽印刷(株)
(株)NIPPOコーポレーション福島支店
名鉄観光サービス(株)
(株)日産サティオ福島
県高等学校体育連盟
アルパイン(株)
福島信用金庫
(株)大盛堂印刷所
竹屋旅館
福島県信用組合協会
(株)ホシ製作所
福島民友新聞(株)
合資会社「東館」
福島交通(株)
(株)環境部分析研究所
福島県ゴルフ連盟
新田産業(株)
東開クレテック(株)
大和自動車交通(株)
福島トヨタ自動車(株)
クリナップ(株)いわき事業所
山木工業(株)
(株)クレハいわき工場
福島運送(株)
(株)日進堂印刷所
陽光社印刷(株)
(株)高橋建設
(株)ヤクルト本社福島工場
タカラ印刷(株)
ふくしまスポーツネットワーク
スポーツニッポン新聞社福島支局
(株)トヨタレンタリース福島
ヤマハ発動機(株)プール事業部東北営業所
白河信用金庫
福島銀行
福島高校バレーボールＯＢ会
(株)ル・プロジェ
福島県信用金庫協会
福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
東亜道路工業(株)福島営業所
福島テレビ(株)
(株)アルティア橋本福島工場
(株)古瀧
(株)ウエディングエルティ
(有)番場産業
庄司建設工業(株)
原町港湾運送(株)
タニコー(株)
東京電力(株)福島事務所
(株)山川印刷所
福浜大一建設(株)
錦興業(株)
堀江工業(株)
名木製帽店
江花建設(株)
寿建設(株)
タナカ(株)情報ビジネス福島営業所
北斗印刷(株)
(株)レオック東北
(株)テレビユー福島
福島観光自動車(株)
ムネカタ(株)
(株)プリテックス
(有)和田印刷
(株)サンベンディング福島

個人の部(加入順)

片平　俊夫
斎藤　久男
矢内　哲郎
伏見　俊哉
七宮　成夫
真田　実
神野美智男
宗田　昌史
星　香里
高橋　一浩
菅野　泰典
菅野　正行
吉田　政勝
本田　俊教
鈴木　浩一
遠藤　均
小椋　裕
柴山　進
長谷川清治
佐藤　弘樹
鈴木　基司
渡辺　勝
下山田好宏
林　幸夫
花井　宣明
服部　啓吉
福本　隆
滝田　勝彦
須藤　博
柳沼　徹
東城　正幸
渡邉　彌
高橋　満
北村　孝男
朽木　耕作
星　光一
吉田　伸一
上竹　毅
稲村　泰伸
関　博之
渡辺　洋司
矢澤　良伸
白根　一英
鈴木　栄喜
本宿　尚
岩本　忠夫
三瓶　昌久
宍戸　正幸
荒川　信郎
菅波　智之
佐藤　武彦
藤田彌五兵衛
廣瀬　敬彦
鷲森　淳
結城　勝夫
佐藤　昌志
国井　裕一
鈴木　義祐
渡辺　知幸
福士　寛樹
宍戸　啓光
酒井　卓
富田　孝志
佐藤　祀男
佐藤　十次
前田　長
長岐　博
佐藤　譲敬
渡辺　正仁
宗形　俊二
池田　昭宏
酒井　卓夫
平石　家治
高橋　千昭
内藤　繁
五十嵐源一郎
岩田　徹
橘　和彦
伊藤　隆司
西郷　徹夫
佐藤　信行
田中　邦宏
山田　知
中條　雅彦

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、８年目を迎えました。この協力金は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。

本協力会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

●加入期間……入会後5年間　●協力金額……毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
●加入窓口……財団法人福島県体育協会事務局　総務係TEL024-521-1291

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター（県体育協会事務局内）

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC/uSCtop.html
E-mail:utsukushima@u-kouiki.jp
TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター（富岡町教育支援センター内）

双葉郡富岡町大字小浜字中央４６４－４
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama@u-kouiki.jp
TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

中通り広域スポーツセンター（たまかわ文化体育館内）

石川郡玉川村小高字大谷地７１
http://www.u-kouiki.jp/NDSC/nakaSC.html
E-mail naka@u-kouiki.jp
TEL&FAX
0247-57-2585

会津広域スポーツセンター（会津若松市ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内）

会津若松市一箕町大字八幡字八幡２の１
http://www.u-kouiki.jp/ASC/ASC.html
E-mail aizu@u-kouiki.jp
TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

編集後記

平成１９年の本県スポーツ界では、年始めの駅伝に始まり、夏には世界陸上、そして国体へと続き、多くの数多くの名場面が生まれました。わたしたちはその姿に感動し、そして勇気づけられ、県全体の活力にも繋がったものと思います。今後も「スポーツに強いふくしま」の確立と、生涯スポーツの振興に一層努力し、県民の皆様と感動を共有できるよう、スポーツ情報を提供してまいります。

※本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(スポーツ情報提供事業)により作成したものです。